

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|--------------|----|---------------|
| ○事業所名 | 児童発達支援HiKaRi | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2024年 11月 7日 | | 2024年 11月 29日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 21 | (回答者数) 16 |
| ○従業者評価実施期間 | 2024年 11月 1日 | | 2024年 11月 8日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 8 | (回答者数) 8 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2024年 11月 1日 | | |

○分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|------------------------------------|
| 1 | 集団プログラムと個別プログラムの両方を実施している。 | 個別プログラムでは概念の習得、集団プログラムでは他児との関わりにおける人間関係・社会性の醸成をそれぞれ重点目標としている。 | 個別の運動プログラムの導入も検討。 |
| 2 | 運動・スポーツの指導を得意とする指導員が多く、集団プログラムでは、多様な内容を提供できている。 | 週1回、器械体操の専門指導員を招聘し、プログラムを実施。 | ミニトランポリンやラダートレーニングなどの用具を計画的に充実させる。 |
| 3 | SNSを使用した保護者との連絡、HPへのブログ掲載により活動状況の報告を実施している。 | 月1回発行のお便りで、LINE公式アカウントへの登録を勧奨している。 | 家族支援のためのコンテンツも充実させていく。 |
| 4 | グループ内に放課後等デイサービス事業所もあることで、小学校就学後の移行をスムーズに行うことができる。 | 保護者からのお問合せがあった場合は、逐次見学受け入れをセッティングしている。 | 年長児を対象に体験会などを実施。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|---|
| 1 | 保護者同士の交流や兄弟向けイベントの機会がない。 | 開設以降、人的な体制が安定しなかったこともあり、着手が困難であった。 | グループで運営している放課後デイサービスの施設が広いこともあり、そこを活用し、親子イベントなどを開催する。 |
| 2 | 保育所、幼稚園など関係機関との情報交流が少ない。 | 独自性を重視する傾向にあったため、積極的に情報交換を行う意識が定着していなかった。 | 利用児童に対し必要に応じて、共通した対応ができるように通園先との定期的および逐次の連絡・調整を行う。 |
| 3 | 家族支援プログラムとしての情報提供が十分でない。 | 月1回のお便り発行を保護者への情報発信ツールとしているが、家庭での取り組みを啓発する内容としては不十分である。 | HPに家庭でできる取り組みを説明したコンテンツを掲載する。 |